



南風にのって

倉敷市立倉敷南小学校
学校だより 第9号
令和8年1月30日

1月があっという間に終わり、もうすぐ立春です。ビオトープに氷が張るほど厳しい寒さの日もありましたが、子どもたちは冬の季節にしか見られない氷に興味深々でした。

3学期は、1年間のまとめをしたり、次の学年への準備をしたりする大切な学期です。一人一人が自分の目標をもって、中学校や新しい学年に向かって進んでいくことができるように、支援していきたいと思っています。

感染症が心配な時期でもあります。元気に学校生活が送れるように、体調管理も含めて、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。



3年生 昔たんけん&七輪体験



足高神社への登り口をきれいに並んで歩きました。足高山からの眺めは最高でした。



3年生は社会科や総合的な学習で昔のことを調べています。

1月15日には足高神社方面に探検に行きました。大きな岩や狛犬を見て驚いていました。また、足高神社の印が倉敷南小学校の校章とよく似ていることに気がきました。後日宮司さんからお話を聞き、神社のことについてさらに詳しく知ることができました。



炭に火をつけようと、うちわであおいでいます。けむりで目がいたくてもがんばっています。



やっと炭がおこって、焼き網の上にもちを並べました。早く焼けないかな。

1月16日には、七輪でもちを焼く体験をしました。地域のボランティアの皆様が大勢参加してくださり、3年生の活動を手助けしてくださいました。

マッチを使うのも初めて、もちろん七輪を使うのも初めてなので、どのグループも苦労しながらがんばりました。カチッとレバーやボタンを押

せばすぐに火がつくガスコンロと違って、炭に火をつけるのは手間がかかります。自分たちで苦労しておこした炭火で焼いたもちは格別だったようです。七輪体験で、昔の人々のくらしをちょっぴり知って、いろいろなことを感じた3年生でした。ご協力くださった地域の皆様、ありがとうございました。

学校公開日

1月20日



3年生 調べたことをまとめています。



たくさんの保護者の皆様が給食の様子を参観していました。



クラブ活動も公開しました。科学クラブの様子です。

1月20日は、3校時から6校時まで学校公開でした。長い時間の公開になるので、子どもたちの日常の様子を参観していただくこ

とができたのではないかと思います。通常の参観日では見ることのあまりないクラブ活動、給食、そうじなど、学校生活のさまざまな面を保護者の皆様に知っていただく機会となっています。子どもたちは、学校でいろいろな人と関わり合いながら学習や生活をする中で、将来社会で自立して生きていくためのさまざまな力をつけていっています。これからも開かれた学校でありたいと思っています。

南っ子ふれあいフェスティバル

1月21日

1月21日に南っ子ふれあいフェスティバルを行いました。運営委員会の子どもたちが計画・準備・運営をする全校集会です。

色帽子をかぶった全校の子どもたちが体育館に集合し、まずはペア学年で並びました。最初のゲームはカラー集めゲーム。じゃんけんをして勝ったら色カードがもらえ、負けたらあげます。すべての色がそろうように次々にじゃんけんをしていきます。始めはまだ固い表情の人が多かったですが、時間がたつにつれてどんどん笑顔が増えてきて楽しい雰囲気になりました。色帽子が入り乱れ、違う学年の人とふれあうことができたようでした。



カラー集めゲーム、南小〇×クイズなどをしました。



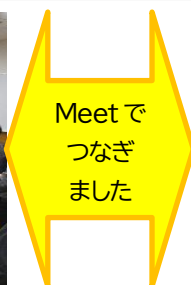
〇×クイズでは正解すると歓声があがり、心も体もぽかぽかと温くなりました。他学年の友達としっかりふれあい、とてもすてきな時間をみんなで共有することができました。高学年の子どもたちが主体となって、自分たちの力で集会を運営している姿を見て、とても頼もしく、成長を感じました。

学校保健委員会

1月28日



会場には保護者の皆様が参加



子どもたちは各教室で参加

学校医で眼科医の山口先生、PTAの保健部の皆様にご参加いただき、学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は、学校における健康上の問題について協議し、健康

づくりを推進する組織です。今年は、会場の会議室と各教室とを Meet でつないで行いました。「目を大切に♡へらそうメディアの時間、ふやそう外遊び～」というテーマで目の健康を取り上げました。保健委員会の子どもたちが視力検査の結果から分かったことや目について調べたことを発表したり、クイズをしたりしました。途中では目の体操もあり、楽しみながら目を大切にするにはどんなことに気を付けたらよいかを考えました。学校医の山口先生から、保健委員会の発表がとてもよかったとほめていただきました。自分の生活を見直し、今回学んだことを生かして目を大切にしてほしいと思います。